

# 平成25年度 進学振分け手続きについて

平成25年度進学振分け（平成24年に実施）は教養学部前期課程で次のように実施する。

**第一段階の進学振分けで内定した者は、第二段階の進学振分けの対象とはならない。**

## 1. 進学志望・不志望の登録

- (1) 登録期間 文学生 6月1日（金）～ 6月4日（月）17時  
理学生 6月5日（火）～ 6月7日（木）17時
- (2) 2年生は全員「進学志望」又は「不志望」のいずれかを必ず登録すること。
- (3) 「進学志望」が未登録の場合は進学振分けの対象外となる。また、昨年度進校内定したが留年・休学等で進学しなかった者も改めて登録しなければ進学振分けの対象とならない。
- (4) 「進学志望」の登録期間中は第一段階および第二段階の志望を登録することができる。但し、第二段階の進学志望登録の変更期間（下記7.参照）は第二段階のみ登録・変更することができる。

## 2. 第一段階進学振分け志望集計表（第一次）発表

- (1) 6月19日（火）10時

## 3. 第3学期成績表確認、第一段階進学志望集計表（第二次）、進学対象外者発表

- (1) 8月22日（水）10時

## 4. 進学志望登録の変更

- (1) 登録期間 8月22日（水）～ 8月27日（月）17時
- (2) 進学志望の変更をする者は、「進学志望先」を修正し登録すること。修正し登録することで、第一段階および第二段階の志望を変更することができる。
- (3) 第一段階で利用する指定科類平均、志望先別全科類平均が確認できる。

## 5. 第一段階進校内定者、各学部内定者ガイダンス日程発表

- (1) 9月5日（水）10時

## 6. 進学先指定平均一覧確認および第二段階進学志望集計発表

- (1) 確認期間 9月5日（水）10時～ 9月7日（金）
- (2) 第一段階で進学が内定しなかった者は、第二段階で一部の学部・学科等が用いる進学先指定平均が確認できる。

## 7. 第二段階進学志望登録の変更

- (1) 登録期間 9月5日（水）10時～ 9月7日（金）17時
- (2) 第二段階の進学志望の変更をする者は、「第二段階進学志望先」を修正し登録すること。修正し登録することで第二段階の志望を変更することができる。

## 8. 第二段階進校内定発表

- (1) 9月24日（月）10時

- 9. 内定者学部ガイダンス
  - (1) 9月24日(月)午後～
- 10. 再志望届の提出
  - (1) 提出期間 9月24日(月)10時～9月26日(水)正午
  - (2) 再志望を希望する者は教務課前期課程窓口に「再志望届」を提出すること。
- 11. 再志望進学内定発表
  - (1) 窓口発表 9月27日(木)14時
- 12. 進学内定辞退届
  - (1) 提出期間 平成25年1月8日(火)9時～1月10日(木)16時30分
- 13. 進学決定発表
  - (1) 進学決定発表 平成25年3月15日(金)
  - (2) 第4学期成績表を確認。成績評価の確認申し出受付は3月18日(月)まで。

## 進学志望・不志望の登録上の注意

1. 進学志望・不志望の登録・確認等の手続きはUTask-Webで行うこと。ただし、再志望の手続きについては教務課前期課程窓口において行う。
2. 第一段階は第1志望のみ登録できる。登録がない場合は不志望とみなされる。
3. 第二段階は原則として第3志望まで登録できる。第1志望の登録がない場合は不志望とみなされる。
4. 一部の学部・学科等では、定められた範囲で学科等の志望順をa・b・cの順に2つ又は3つまで登録することができる。

但し第一段階で、bあるいはcに内定した場合、第二段階の進学振分けの対象者とはならない。同様に、第二段階の第1志望で、bあるいはcに内定した場合、第二段階第2志望の進学振分けの対象者とはならない。（第2志望と第3志望の関係についても同様）このため、a・b・cの3つ全てを登録する必要はなく、aの1つだけ、a・bの2つだけでも良い。

5. 各志望学部の登録方法は次のとおり。

法学部： (1) 志望学部名をa欄に登録する。b・c欄には登録できない。

経済学部： (1) 志望学部名をa欄に登録する。b・c欄には登録できない。

文学部： (1) 志望学部名といずれか1つの専修課程をa欄に登録する。b・c欄には登録できない。

教育学部： (1) 志望学部名といずれか1つのコースをa欄に登録する。b・c欄には登録できない。

教養学部： (1) 第一段階において、志望学部名といずれか1つの分科・コースもしくはコース群をa欄に登録する。b・c欄には登録できない。

(2) 第二段階において、文科生が教養学科、統合自然科学科の認知行動科学コース、学際科学科を志望する場合は、6つの分科・コース・コース群を通じて、第1志望・第2志望・第3志望とも、志望順にa・b・c欄に登録することができる。この場合、3つ全部を登録する必要はない。

(3) 第二段階において、理科生は全ての分科・コース・コース群を通じて、第1志望・第2志望・第3志望とも、志望順にa・b・c欄に登録することができる。この場合、3つ全部を登録する必要はない。

理学部： (1) 志望学部名といずれか1つの学科・部門を選びa欄に登録する。b・c欄には登録できない。但し、第二段階においては、一部の学科・部門には例外がある。

(2) 第二段階においては、宇宙・地球科学部門のうち、天文学科及び地球惑星物理学科は志望順にa・b欄に登録することができる。この場合、a欄のみ登録することもできる。

地球惑星環境学科を志望する際には、a欄のみに登録すること。

- (3) 第二段階においては、生物化学科・生物情報科学科部門は志望順に a・b 欄に登録することができる。この場合、a 欄のみ登録することもできる。

- 工学部： (1) 第一段階と第二段階の第1志望は、志望学部名といずれか1つの学科・部門を a 欄に登録する。b・c 欄には登録できない。
- (2) 第二段階の第2志望は、志望学部名と3つの学科・部門を志望順に a・b・c 欄に登録することができる。この場合、3つ全部を登録する必要はない。
- (3) 第3志望には登録することはできない。

- 農学部： (1) 第一段階は、志望学部名といずれか1つの専修を選び a 欄に登録する。b・c 欄には登録できない。
- (2) 第一段階において、「森林生物科学専修」と「森林環境資源科学専修」は志望順に a・b 欄に登録することができる。この場合、a 欄のみ登録することもできる。
- (3) 第二段階において、第1志望・第2志望・第3志望ともに15の専修から選んだ任意の3つの専修を志望順に a・b・c 欄に登録することができる。この場合3つ全部を登録する必要はない。

- 薬学部： (1) 志望学部名を a 欄に登録する。b・c 欄には登録できない。

- 医学部： (1) 志望学部名といずれか1つの学科を a 欄に登録する。b・c 欄には登録できない。

# 進学振分けについて

東京大学教養学部

平成25年度進学振分け（平成24年に実施）は、「平成25年度 進学振分け準則」（pp.7-16）に基づいて行われる。詳細は準則にて確認するとともに『履修の手引き』も併せて参照し、わからないことがあれば教務課前期課程窓口で確認すること。ここでは、「進学振分け準則」を理解するにあたって参考となるような原則や各学部に通ずる注意事項をまとめてある。

## 1. 進学振分けの対象となる条件

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1. 既修外国語・初修外国語             | それぞれ平均点が40点以上 |
| 2. 基礎演習（文科生）               | 2単位取得         |
| 3. 基礎物理学実験または基礎化学実験（理科一類生） | 2単位取得         |
| 4. 基礎生命科学実験（理科二類、理科三類生）    | 2単位取得         |

2年生が、第3学期終了までに、この条件を満たしていない場合は、進学振分けの対象とならず、自動的に降年となる。

- 進学振分けは、「第一段階」と「第二段階」に分けられ、それぞれの段階で内定できる人数は7ページ以降の各学部「進学振分け準則」の進学者受入予定表のとおりである。また、第二段階の進学振分け後に、定数を満たさなかった学部・学科等によっては「再志望」を認めることがある。
- 第一段階は、原則としてひとつの学部・学科等を志望できる。
- 第二段階は、第一段階で内定していない学生を対象に行われ、原則として、第1志望から第3志望までそれぞれひとつずつの学部・学科等を志望できるが、第3志望まで全てを志望する必要はなく、第1志望だけ、あるいは第1志望と第2志望だけでもよい。また、第一段階のみ、ないしは第二段階のみ不志望とすることもできる。ただし、当然のことながら、志望していない学部・学科等に内定することはない。
- 第一段階・第二段階それぞれに、「指定科類」枠のほかに「全科類」枠がある学部・学科等がある。指定科類枠と全科類枠がある場合、まず指定科類の振分けを行い、指定科類枠で内定しなかった志望者は、自動的に全科類枠の志望者となる。つまり、全科類枠は指定科類枠で進学が内定しなかった学生と全科類枠志望者が対象となる。
- 全科類枠を活用することにより、全ての科類から全ての学部に進学することができるが、全ての学科・コース等に進学できるとは限らない。また、全ての科類に指定科類枠が開かれていれば全科類枠はないし、どちらかの段階に全科類枠を設けない学部・学科等もあるので、各学部の「進学振分け準則」の進学者受入予定表を確認すること。
- 進学振分けにおける成績評価には、指定科類枠において「指定科類平均」を、全科類枠において「全科類平均」を用いるが、第二段階の指定科類枠において「進学先指定平均」（重率・履修点）を用いる学部・学科等がある。詳細は、『履修の手引き』を参照すること。
- 第一段階では、「進学者受入予定表」に定める第一段階定数まで指定科類枠、および全科類枠の志望者を内定させる。

9. 第一段階の志望者が各定数に満たないときは志望者全員を内定させる。
10. 第一段階定数が充足されなかった場合、不足数を第二段階の定数にまわすのが原則である。ただし、例外があり、その場合は各学部の「進学振分け準則」に明記される。
11. 進学者受入予定表において、定数がない場合は「…」で示される。また、もともとの定数は「0」であるが、第一段階進学振分けで定数が充足されなかったときに第二段階に繰り越される可能性がある場合は、「空白」で示される。
12. 第二段階では、まず第1志望で第二段階定数まで指定科類枠、全科類枠の順に志望者を内定させる。第1志望で定数が充足されなかった学部・学科等は、第2志望において、第1志望で内定しなかった学生を対象に、第二段階定数まで指定科類枠、全科類枠の順に志望者を内定させる。第2志望で定数が充足されなかった学部・学科等は、第2志望と同様に第3志望で内定させる。したがって、志望の登録に当たっては志望順序には十分留意する必要がある。
13. 文科生が要求科目の定められている学部・学科等に進学を志望する場合には、第3学期終了時まで要求科目を修得していなければ志望することができない。なお、修得した要求科目は総合科目として扱う。要求科目は、「学部・学科別要求科目一覧」(pp.17 - 18) または『履修の手引き』で確認すること。
14. 要求科目とは別に「要望科目」を定めている学部・学科等がある。要望科目とは、専門教育の基礎として修得を要望している科目のことであるが、要求科目とは異なり、進学のための必須条件ではない。要望科目は、「学部・学科別要望科目一覧」(『履修の手引き』)で確認すること。
15. 再志望は、第二段階の志望登録をしたにもかかわらず内定しなかった学生を対象に行う。詳細は対象学生に個別に説明するので、必ず教務課前期課程窓口で確認すること。
16. 進学内定者が、内定した学部・学科等への内定を辞退し、改めて翌年度の進学振分けに臨むことを希望する場合は、1月中旬の所定期間に内定辞退届に理由を記入のうえ教務課前期課程窓口へ届け出ること。その場合は留年として扱う。
17. 「基本科類定数」とは以下の数である。

文科一類	415名	理科一類	1,147名
文科二類	365名	理科二類	551名
文科三類	485名	理科三類	100名
18. 「上限定数」とは、複数の進学単位(専修課程、学科・部門・分科、コース等)で構成された群について、群全体の「定数」を定め、その群に属する各進学単位が内定させることのできる人数の上限を示したものである。たとえば定数10名の学科にA、B、C三つの進学単位があり、A、B、Cそれぞれが5名を限度として学生を受け入れるとしているようなケースである。A、B、Cの「上限定数」の総和は15名となるが、この学科は実際には成績順に10名しか受け入れないので、進学できるのはAに5名、Bに3名、Cに2名といったような形になる。

## 平成25年度 進学振分け準則

### 1. 法学部

- (1) 要求科目・要望科目は設けない。
- (2) 第一段階で全科類の定数が充足されなかった場合は、第二段階の文科一類にまわす。
- (3) 所属する「類」は、進学内定後（11月）にUTask-Webで登録する。
- (4) 進学者受入予定表

学部	類	定数	第一段階定数			第二段階定数			
			指定科類		全科類	指定科類			全科類
			文科一類	理科		文科一類	文科二・三類	理科	
法	第1類、第2類、第3類	415名	277	4	12	118	2	2	---

### 2. 経済学部

- (1) 要求科目・要望科目は設けない。
- (2) 所属する「学科」は、進学内定後（11月）にUTask-Webで登録する。
- (3) 文科二類以外からの進学内定者は、各科類の基本科類定数の6%を上限とする。(P. 6参照)
- (4) 進学者受入予定表

学部	学科	定数	第一段階定数			第二段階定数		
			指定科類		全科類	指定科類		全科類
			文科二類	理科		文科二類	理科	
経済	経済学科、経営学科、金融学科	340名	189	7	42	81	3	18

### 3. 文学部

- (1) 要求科目は設けない。
- (2) 学科・専修課程別に要望科目を設ける。
- (3) 第二段階の指定科類枠において、文科三類から西洋古典学、社会心理学の各専修課程を志望する学生は「進学先指定平均」を用いる。



## (4) 進学者受入予定表

学部	学科	専修課程	上限 定数	第一段階定数			第二段階定数		
				指定科類		全科類	指定科類		全科類
				文科三類	理科		文科三類	理科	
				270			115		
文 385 名	思想文化学科	哲学	20	11	---	3	3	---	3
		中国思想文化学	8	3	---	1	2	---	2
		インド哲学仏教学	10	4	---	1	3	---	2
		倫理学	15	9	---	1	2	---	3
		宗教学宗教史学	15	10	---	2	1	---	2
		美学芸術学	15	10	---	2	1	---	2
		イスラム学	7	3	---	1	1	---	2
	歴史文化学科	日本史学	25	18	---	2	2	---	3
		東洋史学	25	16	---	2	4	---	3
		西洋史学	25	18	---	3	2	---	2
		考古学	10	4	---	1	3	---	2
		美術史学	15	10	---	2	1	---	2
	言語文化学科	言語学	15	9	---	2	2	---	2
		日本語日本文学 (国語学)	12	6	---	2	2	---	2
		日本語日本文学 (国文学)	28	18	---	2	5	---	3
		中国語中国文学	7	3	---	1	1	---	2
		インド語インド文学	7	3	---	1	1	---	2
		英語英米文学	28	18	---	2	5	---	3
		ドイツ語ドイツ文学	12	5	---	2	3	---	2
		フランス語フランス文学	22	14	---	2	3	---	3
		スラヴ語スラヴ文学	7	3	---	1	1	---	2
		南欧語南欧文学	7	3	---	1	1	---	2
		現代文芸論	8	6	---	1		---	1
	西洋古典学	7	3	---	1	1	---	2	
	行動文化学科	心理学	23	15	---	2	2	---	4
		社会心理学	23	12	4	2	2		3
		社会学	50	25	---	8	10	---	7

※上限定数については、P.6を参照すること。

#### 4. 教育学部

- (1) 要求科目は設けない。
- (2) 基礎教育学コースに要望科目を設ける。
- (3) 進学者受入予定表

学部	学 科	専 修	コ ー ス	定 数	第一段階定数			第二段階定数		
					指定科類		全科類	指定科類		全科類
					文科 三類	理科		文科 三類	理科	
教育 97名	総合教育科学	基礎教育学	基礎教育学	18	8	---	3	4	---	3
		教育社会科学	比較教育社会学	16	8	---	3	3	---	2
			教育実践・政策学	25	12	---	5	4	---	4
		心身発達科学	教育心理学	22	10	2	3	4	2	1
			身体教育学	16	---	---	11	---	---	5

#### 5. 教養学部

- (1) 教養学科の総合社会科学分科においては、特定の科類からの第一段階での上限は15名とし、第二段階を含めても17名を超えて受け入れない。
- (2) 統合自然科学科の数理自然科学、物質基礎科学、統合生命科学の各コースでは、第一段階の指定科類及び全科類枠の定数が充足されなかった場合は、第二段階の理科にまわす。
- (3) 教養学科の超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科及び学際科学科のコース群では所属する「コース」を進学内定後（11月）にUTask-Webで登録する。なお、超域文化科学分科の各コースに所属登録した学生で、分科内でのコース変更を希望する場合、1月末までに後期課程係窓口において所定の手続きを行うこと。

## (4) 進学者受入予定表

学部	学科・分科	定数	第一段階定数				第二段階定数			
			指定科類			全科類	指定科類			全科類
			文科一・二類	文科三類	理科		文科一・二類	文科三類	理科	
教養 183名	教養学科	101名	26	36	8	---	12	15	4	---
	超域文化科学	上限 37	26			---	11			---
	地域文化研究	43	30			---	13			---
	総合社会科学	35	25			---	10			---
	学科・コース・コース群	定数	第一段階定数				第二段階定数			
			指定科類			全科類	指定科類			全科類
			理科一類	理科二・三類	文科		理科	文科		
	統合自然科学科	57名	21	13	3	3	16	1	---	
	数理自然科学	9	6			---	---	---	---	
	物質基礎科学	20	12			3	15	---	---	
統合生命科学	20	13			---	---	---	---		
認知行動科学	8	3			3	1	1	---		
学際科学科	25名	11			7	---	3	4	---	
A群	科学技術論	13	4			5	---	1	3	---
	地理・空間									
B群	総合情報学	12	7			2	---	2	1	---
	地球システム・エネルギー									

※上限定数については、P.6を参照すること。

## 6. 工学部

- (1) 要求科目は設けない。
- (2) 要望科目を設ける学科・部門がある。
- (3) 電子情報工学・電気電子工学の二つの部門の理科二・三類の指定科類枠及び全科類枠の振分けは、成績順で定数まで希望部門に振り分ける。
- (4) マテリアル工学A・B・Cの三つの部門の理科二・三類の指定科類枠の振分けは、成績順で定数まで希望部門に振り分ける。

## (5) 進学者受入予定表

学部	学 科	部 門	定数	第一段階定数			第二段階定数		
				指定科類		全科類	指定科類		全科類
				理科一類	理科二・三類		理科一類	理科二・三類	
工 945 名	社会基盤学科	社会基盤学A(設計・技術戦略)	50	12	1	1	6		
		社会基盤学B(政策・計画)		11	---	3	6	---	
		社会基盤学C(国際プロジェクト)		4	---	3	3	---	
	建築学科	建築学	57	35	---	5	15	---	2
	都市工学科	都市環境工学 (環境共生・国際公共衛生・水・環境バリエーション)	51	7	3	3	4		2
		都市計画 (都市と地域の分析・計画・デザイン)		14	---	8	10	---	
	機械工学科 機械情報工学科	機械工学A (デザイン・エネルギー・ダイナミクス)	86	57	2	2	25		
		機械工学B (ロボティクス・知能・ヒューマンインターフェース)	40	27	---	1	12	---	
	航空宇宙工学科	航空宇宙学	52	36	1	---	15		---
	精密工学科	精密工学 (知的機械・バリエーション・生産科学)	45	25	3	3	11		3
	電子情報工学科 電気電子工学科	電子情報工学 (計算知能・コミュニケーション・メディアデザイン)	117	24	8	4	12		8
		電気電子工学 (エネルギー&環境・ナノ物理・電子&光システム)		36			9		
	物理工学科	応用物理・物理工学 (物性物理・量子情報)	50	32	---	3	10	---	5
	計数工学科	計数工学・数理/システム情報 (数理工学・物理情報学・認識行動学)	56	34	3	2	15		2
	マテリアル工学科	マテリアル工学A (バリエーションマテリアル)	75	8	10	---	6	2	---
		マテリアル工学B (環境・基盤マテリアル)		17			7		
		マテリアル工学C (ナノマテリアル)		18			7		
	応用化学科	応用化学	50	32	3	---	13	2	---
	化学システム工学科	化学システム工学 (クリーンエネルギー・地球環境・安全安心)	46	26	4	2	11	3	
	化学生命工学科	化学生命工学	46	21	11	---	9	5	---
システム創成学科	システム創成A (環境・エネルギーシステム)	43	21	4	5	12	1		
	システム創成B (シミュレーション・数理社会デザイン)	36	21	---	5	10	---		
	システム創成C (知能社会システム)	45	24	2	5	13	1		

## 7. 理学部

- (1) 数学科、情報科学科、物理学科、天文学科、地球惑星物理学科、化学科、生物化学科、生物情報科学科、生物学科に要求科目を設ける。
- (2) 学科別に要望科目を設ける。
- (3) 第二段階において、化学科の指定科類は「進学先指定平均」を用いる。
- (4) 数学科、情報科学科、物理学科、天文学科、地球惑星物理学科、生物学科は、第一段階の指定科類枠の定数が充足されなかった場合は、第二段階の理科にまわす。
- (5) 化学科、生物化学科、生物情報科学科は、第一段階の全科類枠の定数が充足されなかった場合は、第二段階の理科にまわす。
- (6) 地球惑星環境学科は、第一段階の全科類枠の定数が充足されなかった場合は、第二段階の全科類にまわす。
- (7) 進学者受入予定表

学部	学 科・ 部 門	コ ー ス	定 数		第一段階定数				第二段階定数			
					指定科類			全科類	指定科類	全科類		
					理科 一類	理科二 ・三類	理科					理科
理  297 名	数 学		45		29	---	---	3		13		
	情報科学		28		16	---	---	4		8		
	物理学		70		44	---	---	5		21		
	宇宙・ 地球科学	天文学	39	上 限 定 数	9	5	---	---	1	11	上 限 定 数	3
		地球惑星物理学		32	17	---	---	5	10			
		地球惑星環境学		20		---	---	12	2		4	2
	化 学		45		17	10	---	5	13	---		
	生物化学・	生物化学	20		---	---	13	1	6	---		
	生物情報科学	生物情報科学	10		---	---	6	1	3	---		
生物学		20		---	---	12	2		6			

※上限定数については、P.6を参照すること。

## 8. 農学部

- (1) 要求科目・要望科目を設ける専修がある。  
指定科類以外の学生は、その専修の要求科目を第3学期終了までに修得していなければ、その専修を志望することはできない。
- (2) 生命化学・工学専修、応用生物学専修、森林生物科学専修、水圏生命科学専修、生物素材化学専修、森林環境資源科学専修、水圏生産環境科学専修、木質構造科学専修、生物・環境工学専修、フィールド科学専修、国際開発農学専修は、第一段階で指定科類枠の定数予定数が充足されなかった場合、その分を第一段階の全科類枠にまわす。
- (3) 第一段階で定数が充足されなかった場合は第二段階の指定科類にまわす。  
ただし、森林環境資源科学専修、木質構造科学専修、生物・環境工学専修は、理科の定数にまわす。
- (4) 進学者受入予定表

学部	課程	専修	定数	第一段階定数					第二段階定数		
				指定科類				全科類	指定科類		
				理科二類	理科一・三類	理科	文科		理科二類	理科	文科
農 290 名	応用生命科学	生命化学・工学	77	38	4	---	---	12	---	23	---
		応用生物学	27	16	---	---	---	3	---	8	---
		森林生物科学	9	4	---	---	---	2	---	3	---
		水圏生命科学	12	6	---	---	---	2	---	4	---
		動物生命システム科学	8	4	---	---	---	2	2	---	---
		生物素材化学	12	7	---	---	---	1	---	4	---
	環境資源科学	緑地環境学	5	---	---	2	---	2	---	1	---
		森林環境資源科学	14	6	---	---	---	4	---	3	1
		水圏生産環境科学	7	---	---	4	---	1	---	2	---
		木質構造科学	7	---	---	4	---	1	---	1	1
		生物・環境工学	26	11	5	---	---	2	---	7	1
		農業・資源経済学	29	---	---	14	6	---	---	6	3
		フィールド科学	8	4	---	---	---	2	---	2	---
		国際開発農学	19	---	---	9	---	4	---	6	---
	獣医学課程獣医学専修	30	19	---	---	---	3	8	---	---	

## 9. 薬学部

- (1) 要求科目・要望科目を設ける。  
指定科類以外から進学を志望する学生は、要求科目を第3学期終了までに修得していなければ、志望することはできない。
- (2) 第一段階で、指定科類枠（理科二類、理科一・三類）のどちらかが定数に満たない場合は他方で補充する。それでも満たない場合は第二段階の理科にまわす。また、全科類が定数に満たない場合も第二段階の理科にまわす。
- (3) 第二段階の指定科類枠において、「進学先指定平均」を用いる。
- (4) 所属する「学科」は、4年次に決定する。
- (5) 進学者受入予定表

学部	学科	定数	第一段階定数			第二段階定数	
			指定科類		全科類	指定科類	
			理科二類	理科一・三類		理科	
薬	薬科学科、薬学科	80	32	16	8	24	

## 10. 医学部

- (1) 医学科に要求科目を設ける。  
指定科類以外からの医学科を志望する学生は、医学科の要求科目を第3学期終了までに修得していなければ、医学科を志望することはできない。
- (2) 医学科の第一段階の指定科類枠（理科二類）・全科類枠の定数が充足されなかった場合は、第二段階の指定科類枠（理科三類）にまわす。
- (3) 健康総合科学科の所属する「コース」は、進学後に決定する。
- (4) 進学者受入予定表

学部	学科	定数	第一段階定数				第二段階定数		
			指定科類			全科類	指定科類		全科類
			理科三類	理科二類	理科		理科三類	理科	
医	医学科	110	64	10	---	3	33	---	---
	健康総合科学科 健康科学コース 看護学コース	40	---	---	20	8	---	8	4



## 学部・学科別要求科目一覧

1. 単に並記されている全ての科目の修得が要求される。
2. 「または」で記述されているものはいずれかの修得が要求される。
3. ある科目群から所定の総単位数が満たされるように修得することが要求される場合があり、その場合には、例えば「・・・」から3科目（6単位）のように記載されている。

学部	学 科 等	要 求 科 目
法		要求科目を設けない。
経済		要求科目を設けない。
文	全学科	要求科目を設けない。
教育	全コース	要求科目を設けない。
教養	全学科	要求科目を設けない。
工	全学科	要求科目を設けない。
理	数学	基礎科目(数理科学) 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅰ演習、数学Ⅱ演習」(計12単位)  基礎科目(物質科学) 「力学、電磁気学、熱力学または化学熱力学、構造化学、物性化学」 (計10単位)
	情報科学 物理学	基礎科目(基礎実験) 「基礎物理学実験、基礎化学実験」(計4単位)または 「基礎物理学・化学実験、基礎生命科学実験」(計4単位)  基礎科目(数理科学) 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅰ演習、数学Ⅱ演習」(計12単位)  基礎科目(物質科学) 「力学、電磁気学、熱力学または化学熱力学、構造化学、物性化学」 (計10単位)  基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位)
	天文学 地球惑星物理学	基礎科目(数理科学) 「数学Ⅰ、数学Ⅱ」(計8単位)  基礎科目(物質科学) 「力学、電磁気学、熱力学または化学熱力学」(計6単位)
	地球惑星環境学	要求科目を設けない。

	化学 生物化学 生物情報科学	基礎科目(基礎実験) 「基礎物理学実験、基礎化学実験」(計4単位)または 「基礎物理学・化学実験、基礎生命科学実験」(計4単位) 基礎科目(数理科学) 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅰ演習、数学Ⅱ演習」(計12単位) 基礎科目(物質科学) 「力学、電磁気学、熱力学または化学熱力学、構造化学、物性化学」 (計10単位) 基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位)
	生物学	基礎科目(基礎実験) 「基礎物理学実験、基礎化学実験」(計4単位)または 「基礎物理学・化学実験、基礎生命科学実験」(計4単位) 基礎科目(数理科学) 「数学Ⅰ、数学Ⅱ」(計8単位) (文科生は基礎科目(社会科学)の「数学Ⅰ、数学Ⅱ」(計4単位)で 置き換えることができる。) 基礎科目(物質科学) 「力学、電磁気学、熱力学または化学熱力学、構造化学、物性化学」 から4科目(計8単位) 基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位)
農	応用生命科学課程 生命化学・工学専修	基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位) 基礎科目(基礎実験) 「基礎物理学実験、基礎化学実験、基礎物理学・化学実験、 基礎生命科学実験」から1科目(2単位)
	応用生命科学課程 応用生物学専修	基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位)
	応用生命科学課程 水圏生命科学専修	基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位)
	環境資源科学課程 水圏生産環境科学 専修	基礎科目(物質科学) 「構造化学または物性化学」(2単位)
	獣医学課程 獣医学専修	基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位)
	その他の専修	要求科目を設けない。
医	医学	基礎科目(生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から1科目(2単位)
	健康総合科学	要求科目を設けない。
薬	薬科学、薬学	基礎科目(物質科学)・基礎科目(生命科学) 「物性化学、熱力学または化学熱力学、生命科学または生命科学Ⅰ」 の中から2科目(計4単位)

